日本の爬虫類と両生類

蜥蜴太郎・蛇山次郎（爬虫類研）・井守美幸（両棲大・理・生物）・亀川亀子（爬虫類研）・ 蛙谷卵子（両棲大・理・生物）

Reptiles and amphibians of Japan

Taro Tokage, Jiro Hebiyama, Miyuki Imori, Kameko Kamekawa, and Ranko Kaerutani

2010 年 1 月から 2013 年 12 月にかけて，日本国内の次の 32 地域で春期を中心として爬虫 類，両生類を探し，出現種を記録した．北海道釧路市，札幌市，青森県青森市，岩手県盛 岡市，秋田県秋田市，福島県いわき市，茨城県つくば市，千葉県南房総市，東京都八丈町， 石川県白山市，山梨県甲府市，長野県北安曇郡，愛知県知多郡，滋賀県大津市，京都府舞 鶴市，兵庫県三田市，奈良県吉野市，鳥取県米子市，広島県東広島市，山口県下関市，愛 媛県松山市，高知県安芸市，福岡県福岡市，長崎県対馬市，五島市，大分県別府市，鹿児 島県指宿市，奄美市，沖縄県国頭郡，那覇市，宮古市，石垣市．全ての地域を合計して， 爬虫類 45 種，両生類 25 種が確認された．爬虫類，両生類の別に出現種の類似度を見たと ころ，両分類群とも，鹿児島県奄美市以南とそれより北側で出現種が大きく変化すること が確認された．北海道から九州までの地域は出現種の共通性が高く，特に爬虫類において はほとんどの種が共通してみられた．対馬市，奄美市，国頭郡，石垣市などの島嶼部では， 他の地域では確認されない種の比率が高く，日本国内の爬虫類と両生類の多様性を維持す る上で重要な地域であることが示された．外来種は各地で出現していたが，関東以西の都 市近く（県庁所在周辺）における出現率が高かった．